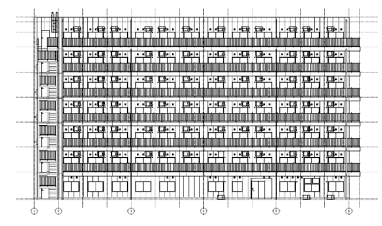


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市佐太東町1丁目 有料	階数	地上7F
建設地	大阪府守口市佐太東町佐太東町	構造	S造
用途地域	準防火地域・準工業	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月30日
敷地面積	1,232 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 M-I設計
建築面積	593 m <sup>2</sup>	確認日	2024年4月30日
延床面積	3,047 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 M-I設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
大阪府守口市に計画された地上7階建て、S造の有料老人ホーム。 快適な室内環境のために断熱性能を高め、十分な採光、通風を確保するとともに、利用者や歩行者が緑を感じられるよう、メインアプローチおよび道路に面するよう植栽を配置した。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
化学汚染物質対策として、内装材及び取付接着剤は全てF☆☆☆☆を採用した。 居室は広く開口をとり、十分な自然採光および自然換気が得られるよう計画した。	耐用性に配慮し、更新間隔の長い外装材、内装材、配管を採用した。	50%以上を示す規模の外構緑化を行い、植栽を道路に面して配置することで、良好な景観を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう下地構造はLGSとし、部材の再利用可能性向上に努めた。	適切な量の自転車置き場、駐車場を確保し、交通負荷抑制に努めた。 光害対策として、屋外広告を行わず敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)守口市佐太東町1丁目 有料老人ホーム 新築工事					
建設地		大阪府守口市佐太東町					
用途/区分		病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					3	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
	<small>非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分</small>					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							